

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東九州支部	(2) 記載者氏名:	園田暉明	会員番号:	13135	事務局整理記入欄	東九州 - 8
分水嶺区分	広葉樹植林地 ~ K058	584m ~ 弓木峠	(3) 山行日:	2004年	12月	12日	(4) 天候 晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

中野 稔	13997			徳永昌弘	10810			
園田暉明	13135							
石川洋佑	会友36							
計				3名				
				計				1名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	坂ノ上の峠から弓ノ木の峠までの、距離約5.1km、標高500m、なだらかな地形の林業対象区域内の数こぎ												
アプローチ:	坂ノ上の峠へはJR久大線豊後森駅下車、県道玖珠山国線をマイカーで約20分。 弓ノ木の峠へは前記JR駅下車、前記県道を経由し町道をマイカーで約20分。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	立羽田峠分水嶺入口	裏耶馬溪	131	7	16	33	20	20	563	7:05	7:15	B-1	
分水嶺到達点	広葉樹植林地先鞍部	裏耶馬溪	131	7	17	33	20	17	570	7:17	7:17	B-2	
K058	584ピーク	深耶馬溪	131	7	38	33	20	30	590	8:33	8:45	B-3	
	571ピーク	深耶馬溪	131	7	55	33	20	41	580	10:22	10:22	B-3	放牧場跡
	鶴ノ原池北東ピーク	深耶馬溪	131	8	4	33	20	27	577	11:00	11:30	B-3	鹿の食害
	573ピーク	深耶馬溪	131	8	16	33	20	35	579	13:00	13:00	B-3	作業道
	弓ノ木台	深耶馬溪	131	8	27	33	20	34	583	13:14	13:20	B-2	送電線
	554ピーク	深耶馬溪	131	8	44	33	20	34	555	14:46	13:46	B-2	分水嶺上の町道
	祠のピーク	深耶馬溪	131	8	52	33	20	37	581	13:58	14:08	B-2	祠
分水嶺離別点	弓ノ木峠	深耶馬溪	131	8	57	33	20	55	537	14:13		B-1	
歩行終了点	弓ノ木峠	深耶馬溪	131	8	57	33	20	55	537	14:13		B-1	
											総歩行時間(休憩時間を除く):	6時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
K058	584ピーク	3	正確に南 を指す	良好	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

571mピークの北西一帯は、最近まで牛の放牧場として利用されており、現在も当時を示す有刺鉄線の柵が残っている。
573mピーク - クの西方直近には、同ピークを囲むように作業道(幅員約3m、未舗装)があるが、地形図には表示されていない。
弓ノ木台と554mピークの間には分水嶺を横切る送電線がある。(地形図と合致)
554mピーク辺りでは分水嶺上を町道(アスファルト舗装、幅員4m)が約200mにわたり通っている。(地形図と合致)
祠のピークには石組みの古い祠{(縦、横1m、高さ2m)、「馬勢(付近部落の小字名)組」等の刻印あり。}がある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

本区間は林業対象の山域で、植林された檜、杉や、薪炭生産、椎茸栽培等のため、伐採を繰り返していると認められるクヌギ、コナラ、樫等で占められ、大木の繁る原生林はない。
鶴ノ原池北東ピークの小さな落葉樹は、大半にわたり下部の樹皮が剥れており、鹿の食害と認められた。
分水嶺の北側は、周防灘に注ぐ山国川水系金吉川の支流 下河内川の源流域、南側は有明海に注ぐ筑後川水系玖珠川の支流太田川の源流域となっている。
○573mピークの前後約1km、広葉樹の生える分水嶺(尾根)上には、松害虫により枯れたと思われる松がいたる所にあり、残った松は極めて少なく、大木は見当たらない。その周辺には小さな松が生えて回復の兆しが認められるが、その勢いは弱い。

(10) その他の特記事項

○平成16年7月24日、2名で本区間の現地下調べを実施したので、正式の踏査に参加しなかった従事者1名をサポート要員扱いとした。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: